



新しい大学院教育への期待 大学院生からの提言

応用動物科学専攻
修士1年 関野 伸史



Q. 「産学連携」や「学際的アプローチ」に
対して、どんなイメージを持っていますか？

A. よくわからないなあ...

最近騒がれているけど、
いったい何ができるのだろうか？

院生たちは「産学連携や学際的アプローチが
何を目指しているのか」に対するイメージを
明確に持つことができない



言葉だけが先行していて
実態が理解できないから



「産学連携」、「学際的アプローチ」の目指すところを
理解させてくれる、興味をわかせてくれる授業

Q. 産学連携と銘打った授業では
どのような内容を期待しますか？

A. 企業の実態を垣間見たい

企業の人にしか分からないことを
教えてほしい



具体例:「バイオビジネスと特許戦略」

バイオビジネスと特許戦略

企業の人たちが来て講義を行う

大学院

企業

企業での新人研修システムはどのようになっているのだろうか？

研究システム
研究対象

リスクに対する考え方

...などの違い



しかし、この授業は産と学の「連携」には重点をおいていない

私がAGRI-COCOONに望む 「産学連携」についての授業



例えば、牛肉を扱っている企業は
その原因であるプリオンタンパク質に関する
Natureの論文をどのように評価するのか？

「食の安全」のようなテーマについて
学際的アプローチを行う授業があるとして、

Q. どのような授業であれば、受けてい
と思いますか？

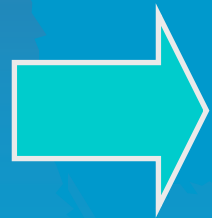
A1. その授業のコンセプトが
はっきり示されている

A2. 各分野のスペシャリストを呼んで、
ディスカッションをしてもらう



オススナ

各分野のスペシャリストを呼んで、
ディスカッションをしてもらう



各分野のスペシャリストたちが
学際的にアプローチするところを
実際に見てみたい！

例えば牛肉問題なら...

- ①吉野家の安部社長
- ②伊藤元重東大教授(経済学)
- ③小泉首相もしくは中川農林水産大臣
- ④ジョハnz米農務長官 など